



かながきの美しさ

高山寺の鹿

そのあと、高山寺へ寄った。石水庵には、もう何度か見たことがあるので、お堂の外へも目にした。いものばかりであった。ところが、ふと気がつく、お堂の二階に木彫りの二頭の鹿がおかれていた。一頭は首を斜め上に向けて遠くをながめてゐる。その首から胴体への流れが、うな曲線、円頭をえぐる前脚、行成流の板金がきの美しさをそのまま動物によって表現されている感じである。

お坊さんがあらわれて「高山寺の境内には、ある時代以後、春日神社が祀られていて、ここにこの鹿がおかれていた。濃慶の作と知られてゐる」と説明してくれた。

(吉原区柳ヶ畑。市バス、国鉄バス高麗下車、約一キロ)

京大教授 湯川 秀樹

写真 加登 藤 信
題字は書家・木村陽山筆

京大
見なおす

(1)

c073-001-015

昭和
ベ
首

右から茅、佐藤首相、湯川、
上代、植村、川端の各氏
(首相官邸で)

c073-001-



湯川京大教授

世界平和アムステルダム委員会の
事務局前東大総長ら五人の委員
が、六日前十時首相官邸に佐藤
首相をたずね、ベトナム戦争の平
和的解決について日本の積極的な
努力を要請する要請状のような要

「ベトナムの情勢は米軍の北進
とこれに反対する北ベトナムの
態度、さらに中国とソ連の動き
などから事態は複雑をゆるさ
ず、日本としては「まだ戦争の
時期ではない」というようなこ
とではいけない。日本は平和
の維持を立国の第一義としてお
り、今こそ平和の維持と主権を
事關解決のために確立させるこ
とができないならば時期を失す
る恐れがある。日本が米軍と特

別な友好関係にあるが、今なん
らかのきっかけを与えることに
よって米軍をベトナムの泥沼か
ら足を引きぬくことが米国のた
めであり、世界平和のためであ
る。

二、米軍が機嫌で行動を起す場
合、日本は安保条約によって米
国による無差別利用などなら
ぬのかかわりを持つことになり
かねない。日本としては米軍と
協議をし、機嫌に発生しつつあ
る危険が日本に及ぼすようは
とめる。

この日、佐藤首相と会見した七
人委員のメンバーは、事務局前東大総長
のほか、つぎの各氏である。
上代たけの日本女子大総長、川端
康成日本ベンチクラブ会長、植村謙
日本YWCA名誉会長、湯川秀樹
京都大学文理学部基礎物理学研究所
長。

自相に要望書 ベト